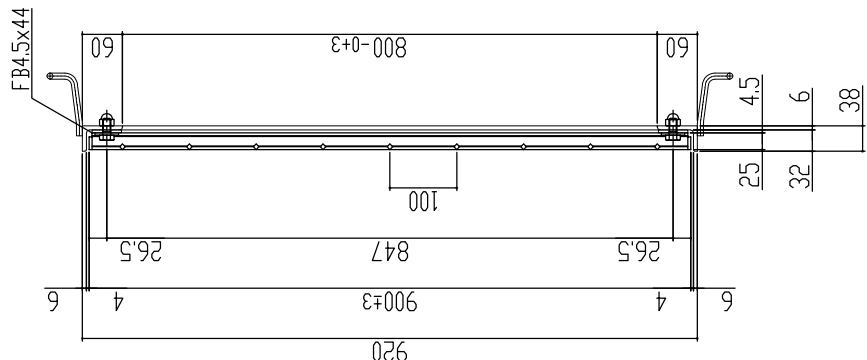
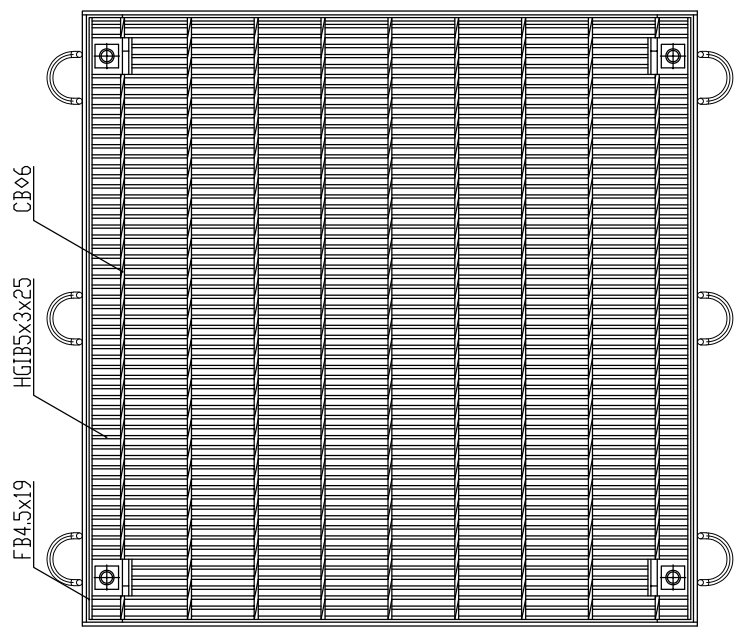


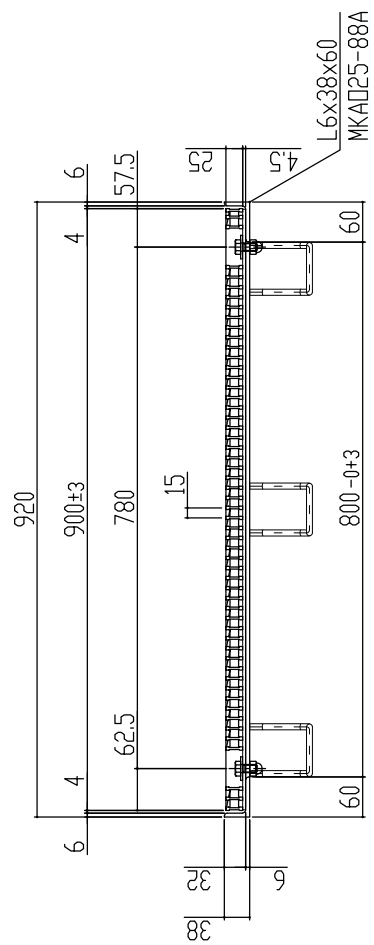
本体重量	46.7kg
受枠重量	17.0kg
合計重量	63.7kg

表面処理 本体は溶融亜鉛メッキ仕上げ
(JIS H8641)
受枠は錆止め黒塗装仕上げ

主部材詳細図



車両進行方向(横断)



訂正年月日	訂正番	訂正年月日	訂正事項	訂正者	承認印	検印	製図	図面名称	
	標準製作図面						松本	ますぶた(ハイテン)グレーチング・ノンステップ 開口 800x800用 細目ボルト固定Kタイプ	
	試作図面						山口	T-2	
	特注図面						平元	LNHFA255-88BB	
								図番	MKG-L-8155
								株式会社 マキタ MK駐輪事業部	

グレーチング強度計算書



1 仕 様	品 名	LNHFA255-88BB
	製品寸法	900x900x25
	主部材	I - 5 × 3 × 25
	断面係数	Z = 0.485 cm ³

2 設 計 条 件	荷重条件	T-2	支点間距離	L = 800
	後輪一輪荷重	P = 8000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 320$ N/mm ²	車両進行方向	主部材に対し、横断
	主部材ピッチ	O = 15 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 160 mm		

3
強
度
計
算

1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。

$$\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積} \quad \text{より}$$

$$\omega = 8000 \times (1 + 0) \times 15 / 32000$$

$$\omega = 3.75 \text{ (N/mm)}$$

2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M (N・mm)を求める。

$$M = \omega \times 0.5 \times a \times (L - 0.5 \times a) / 2 \quad \text{より}$$

$$M = 3.75 \times 0.5 \times 200 \times (800 - 0.5 \times 200) / 2$$

$$M = 131,250 \text{ (N・mm)}$$

3. 曲げ応力度: σ_b (N/mm²) を求める。

$$\sigma_b = M / Z \quad \text{より}$$

$$\sigma_b = 131,250.0 / 485.000$$

$$\sigma_b = 270.62 \text{ (N/mm}^2\text{)}$$

従って、許容応力 $\sigma_b = 320$ (N/mm²) に対し、

$$\underline{\underline{270.62 \text{ (N/mm}^2\text{)} \leq 320 \text{ (N/mm}^2\text{)}}}$$

4 総 括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
-------------	--